



Nozomu Tsunoda

角田 望

株式会社LegalForce
代表取締役CEO

【会社所在地】〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-6 NTT日比谷ビル8階

【事業紹介】日本初の自然言語処理を用いたクラウド型契約書レビュー支援ソフトウェア「LegalForce」を提供。



【PROFILE】

1987年生まれ
2010年、京都大学法学部卒業
2012年、弁護士登録完了
2013年、森・濱田松本法律事務所入所
2017年3月、法律事務所ZeLo開設
2017年4月、株式会社LegalForce設立・代表取締役就任

【創業年】2017年

旧司法試験論文一位合格。趣味はキャンプと釣り。

【座右の銘】 困難こそチャンス！

「日本の法律業界における非効率を見過ごしてはならない」との使命感から起業を決意

法律事務所の弁護士として勤務する中で、いまだに全てが「人手」で行われる法律業界の非効率を身をもって痛感しました。手作業を尊ぶ文化も相まって、日本の法務におけるテクノロジーの導入は、海外と比較して著しく遅れています。しかしそれを容認することは、日本の法務サービスの国際的な競争力を、日本の法律家自身が諦めるということです。これは日本の一弁護士として見過ごしてはならないという思いから起業に至りました。

会社の特徴

テクノロジーの力で 法務をもっと速く、スマートに。

弁護士とエンジニアが協働する独自の開発体制により、法務の実務と課題に即した新しいソリューションを提供しています。LegalForceが目指すのは、複雑化する法務業務に対応して成長を続ける法務プロフェッショナルと、共に進化し続けるパートナーであることです。京都大学との共同研究や最新の開発フレームワークの導入を通し、技術面においても常に最新のテクノロジーを提供することに挑戦しています。

事業・サービスの強み

AIが契約書のリスクを瞬時に指摘！ 法務のための契約書レビュー支援ソフトウェア

LegalForceは、これまで人手と時間をかけることでしか品質を高めることができなかった契約書レビュー業務を、品質を保ちながら加速させる全く新しいソリューションです。AIを活用した自動レビュー機能では、契約書に潜むリスクを瞬時に指摘し、修正文例まで提案します。契約書ファイルを自動でデータベース化する機能では、社内の知見の蓄積・活用を促進します。現在100社を超える企業に導入いただいています。



経営リスクと戦う
法務プロフェッショナルに、
パートナーとなる「AI」を。

▲製品ビジョンは法務の「パートナー」



▲契約書のリスク箇所をピンポイントで指摘